

**令和5年度福岡市子どもプラザ事業運営団体選考に係る協議会 議事要旨**  
**【西区徳永子どもプラザ】**

- 【開催日時】 令和5年11月8日（水） 13：00～
- 【場所】 アクロス福岡 605 会議室
- 【議題】 (1) 応募団体プレゼンテーション・質疑応答  
(2) 応募内容の審査・評価、意見交換
- 【出席者】 中村委員長、川上委員、植山委員、清成委員

**西区徳永子どもプラザの選考**

**(応募団体A)**

委員：様々な地域からの利用があるとのことだが、感染症対策は継続しているか。

応募団体：声かけによる体調確認、入室前の消毒、おもちゃの消毒をこまめに行う。検温は、用意はしているが口頭確認のみとしている。おもちゃについては、口に入れたものは必ずかごに入れてもらい、消毒を行っている。

委員：英語が話せるスタッフが在籍しているのか。

応募団体：在籍している。外国語リーフレットは区より提供があり、それを活用している。個別の相談に対しては英語が話せるスタッフが対応する。

委員：男性スタッフの雇用や男性サポーター募集の予定はされているのか。

応募団体：子育てに男女関係ないと思っている。ボランティアの希望があれば、その時の状況で受け入れは可能。

委員：積極的に男性の募集はされているのか。

応募団体：していない。

委員：子育て支援コンシェルジュに相談を持ち掛けられた時など、現場の様子を教えてください。

応募団体：看護師である専門性を活かさないかと考え、身体測定などから親子に関わりを始めていた。最初は慣れなかったが、頻度を増やして定期開催するようにした。定期的に開催することで、成長と一緒に見守ったり、その場で情報を提供したりしている。子どもの成長や離乳食など子育てに関する悩み・不安をお話される保護者が多いが、助言すると安心される。

**(応募団体B)**

委員：利用中に体調不良になった場合はどう対応するか。また、おもちゃの消毒はどのように実施されるか。

応募団体：嘔吐の場合などを想定した研修を行っている。看護師が在籍しているので、研修を行って処置の方法や隔離の仕方などシミュレーションしている。おもちゃを口に入れた場合は、消毒をして提供する。

委員：子どもプラザは保育園とは違って保護者への支援も多いが、どのように捉えているか、またどんなことに気を付けるか。

応募団体：保護者に対しての声掛けの際に傷つけない・責めないように一層気を付けさせる。保護者への対応という点では保育園と子どもプラザの違いを感じている。

委員：父親へ子育ての喜びを感じてもらうために、男性から男性へ伝える取り組みをしたいとのことだが、どのような形で男性参加を促すのか。また、お父さんの利用を促すために特別な日程を設定するなど何か考えていることはあるか。

応募団体：代表が立ち上げた団体の会員と一緒に巻き込んでいきたい。日程については、土日に定例的に開催しようと考えている。

委員：徳永子どもプラザという特性を生かして提案したい内容は何かあるか。

応募団体：複合施設の中の子どもプラザで広々としたプラザであるため、動き回る日、指先遊びを行う日を分けて、子どもたちが自分で選んで遊べるように環境設定したいと考えている。公園が近いので外遊びもしたいと考えている。

## 総評

### 運営団体Aに関して

- ・ 来館者に対して受け止めるような取り組みがある。また、地域性に合わせた人員配置がなされており、全般的に適切で安定した運営が行える団体と思われる。
- ・ 今後は、男性が参加できるような取り組みを期待したい。

### 運営団体Bに関して

- ・ 父親の育児参加など新しい提案が多い点は評価できる。
- ・ 親子への積極的な関わりに重点を置いているように見受けられるため、親子に寄り添う視点を持った提案内容が望まれる。